

2017
10/21 sat @ cafe Beulmans

open 19:30 / start 20:00
2 stage / mc 2,800 yen + 2drinks order

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F



guitar

鈴木 大介



鈴木大介

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。これまでに、池辺晋一郎、西村朗、猿谷紀郎、和田薫、伊左治直、各氏らほかの作曲家からギター協奏曲を含む多くの作品の初演を依頼されている。2013年にはサントリー・サマー・フェスティバルにおいて、野平一郎作曲「エレクトリック・ギターとオーケストラのための炎の弦」を演奏、またソリストとして参加した東京シンフォニエッタによるCD「天女散花」はレコードアカデミー賞現代音楽部門を受賞した。

contrabass

吉野 弘志



吉野弘志

1955年広島市生まれ。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科（コントラバス専攻）に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦、加古隆、山下洋輔、板橋文夫、塩谷哲、などのグループに参加。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』{太田恵資(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla)}、『吉野弘志モンゴロイダーズ・ネオ』{小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(req)}を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ワード奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブルFarha』などに参加している。リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダーズ」{メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds)}と、ベース・ソロアルバム「on Bass」、「吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side」がある。